

7月30日

はかせ れいはい  
テーマ：博士たちの礼拝

ふくいんしょ しょう せつ  
聖書箇所：マタイの福音書2章1～12節

きょう  
◆今日のみことば

そしてその家に入って、母マリヤとともにおられる幼子を見、ひれ伏して拝んだ。そして、  
宝の箱をあけて、黄金、乳香、没薬を贈り物としてささげた。

ふくいんしょ しょう せつ  
マタイの福音書2章11節

◆メッセージ

「あっ、あの星はなんだろう。今まで見たこともない輝きだ。調べてみよう。」

東方の博士たちは大きく輝く星にびっくりして、たくさんの書物を調べました。すると、ユダヤの町に全世界の「救い主」がお生まれになったしるしだ、とわかりました。博士たちはその救い主



に会いに行くことにしました。だって、世界の救い主は、博士たちにとっても救い主でしょう？遠い遠いユダヤの町に向かって出発です。長い旅になるので、その間の食べ物、飲み物、それから？それから？たくさんの荷物をらくだにのせました。「救い主にプレゼントをもっていこう。」王様にささげる黄金、神さまにささげるとても良い香りのする乳香、そして、死んだ人の体に塗るお薬である没薬も持ちました。

長い長い旅を続け、遠いユダヤの町エルサレムに着きました。その間、ずっと大きく輝くあの星が道案内をしてくれました。エルサレムに着いた博士たちはヘロデ王のところに行きました。救い主だから、王宮にいるかな、と思ったからです。いえいえ、違いますよね。ヘロデ王に仕える人たちが調べたところ、ベツレヘムであるとわかりました。博士たちは、またベツレヘムに出発しました。その時も、大きく輝く星は博士たちの道を案内してくれました。と、星がとまりました。その家に入ってみると、そうです、イエスさまがおられました。救い主イエスさまにお会いできた博士たちは大喜びです。心からイエスさまを礼拝しました。また持って来た宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物としてささげました。イエスさまこそ、王、神のみ子、身代わりに死んでくださる救い主、という告白を表しました。

長い旅を続けて、博士たちは救い主イエスさまにお会い出来たのです。すごくすごくうれしかったでしょう。私たちも救い主のお生まれの喜びを神さまに感謝し、博士たちのように心から礼拝する者となりましょう。



◆お祈り

「イエスさまが全世界の救い主として生まれてくださって、感謝します。私もイエスさまを救い主として礼拝します。」

(町田南キリスト教会伝道師 鈴木七絵)